

製品名: EEA1 (3B7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10306**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000, ICC/IF 1:200-1:1000
分子量	162kDa

抗原情報

遺伝子名	EEA1
別名	Early endosome antigen 1; EEA1; MST105; ZFYVE2;
遺伝子 ID	8411.0
SwissProt ID	Q15075
免疫原	ヒト EEA1 の合成ペプチド

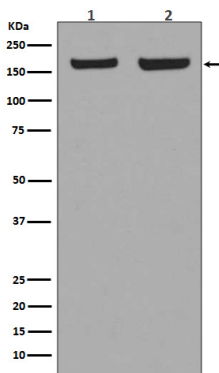
背景

EEA1 は初期エンドソームマーカーであり、初期エンドソーム膜の融合と輸送に必須の Rab5 エフェクタータンパク質である(1-2)。EEA1 のカルボキシ末端には、ホスファチジルイノシトール-3-リン酸 (PtdIns(3)P) に結合する FYVE ドメインが含まれており、EEA1 を初期エンドソームへと誘導する(3)。EEA1 とエンドソーム膜の安定した結合は、PI3 キナーゼ、Rab5、およびカルシウム/カルモジュリンによって制御される(4-6)。膜に到達した EEA1 は、Rab5、NSF、およびシンタキシン 13 と相互作用し、初期エンドソーム膜へのドッキングと融合を促進する(7)。ホスファチジルイノシトール-3-リン酸を含むリン脂質小胞に結合し、エンドソーム輸送に関与する。

研究分野

エンドサイトーシス;

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における EEA1 発現のウエスタンブロット解析。